公益財団法人 新聞通信調査会シンポジウム

生成AI最前線とメディアの未来

～SNS時代の「真実」とは～

生成AIの普及で情報空間が揺れている。真偽の入り交じった情報が生成され、SNSで拡散する。そうした時代にあって、報道機関はどう真実に迫り、どう伝え、何を監視するのか。取材・検証・編集という報道の価値を問い直すとともに、報道現場でのAI活用、学習データの透明性、著作権と適正な対価、巨大プラットフォームへの監視といった点から、AI時代に信頼される報道機関のあり方を議論する。

会場参加 **オンライン参加**

日時 2026年 12月 3日（木）

14:00～17:00　13:30受付開始

場所 プレスセンターホール
日本プレスセンタービル10階

プログラム

- 14:05 ▶ 第1部 基調講演
- 15:05 ▶ 休　憩
- 15:15 ▶ 第2部 パネルディスカッション
- 17:00 ▶ 終　了

基調講演



新井 紀子（あらい のりこ）
国立情報学研究所
社会共有知研究センター
センター長・教授

東京都出身。一橋大学法学部、米イリノイ大学数学科卒業。東京工業大学（現東京科学大学）博士（理学）。専門は数理論理学。2011年から人工知能（AI）プロジェクト「ロボットは東大に入れるか」を主導。16年からは読解力を診断する「リーディングスキルテスト」を開発。『AIに負けない子どもを育てる』、『シン読解力』（いずれも東洋経済新報社）など著書多数。一般社団法人「教育のための科学研究所」代表理事・所長。

コーディネーター



竹内 薫（たけうち かおる）
サイエンス作家

東京大学教養学部教養学科、同理学部物理学科卒。カナダ・マギル大学大学院博士課程修了（専攻は高エネルギー物理学）。理学博士（Ph.D.）。大学院を修了後、サイエンス作家として活動。わかりやすい科学解説や科学評論で定評がある。ベストセラーに『99.9%は仮説 思い込みで判断しないための考え方』（光文社新書）など。YES International School校長、ZEN大学教授。

パネリスト



山本 龍彦（やまもと たつひこ）
慶應義塾大学大学院
法務研究科教授

2005年慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。博士（法学）。桐蔭横浜大学法学部准教授などを経て現職。内閣府・消費者委員会委員などを務める。主著に『〈超個人主義〉の逆説―AI社会への憲法的警句』（弘文堂）、『AIと憲法』（日本経済新聞出版社）など。慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート（KGRI）X Dignityセンター共同代表。



古瀬 敬之（ふるせ たかゆき）
一般社団法人共同通信社
デジタル事業部長

島根県出身。2003年共同通信入社。06年から経済部で日銀、財務省、首相官邸、自動車業界などを担当。16～19年にニューヨーク支局。経済部デスク、労組委員長、データ調査報道部長などを経て26年11月から現職。データ調査報道部ではビッグデータから社会課題を浮かび上がらせる「データジャーナリズム」や調査報道に取り組んだほか、SNSを使った虚偽情報拡散の動きなどを報じた。

公益財団法人 新聞通信調査会シンポジウム

生成AI最前線とメディアの未来

～SNS時代の「真実」とは～

参加費 無　料

会 場 参 加

申込方法

● 新聞通信調査会ホームページから

https://www.chosakai.gr.jp

新聞通信調査会　検索

● QRコードから直接

定員

200人（抽選）

申込受付期間

11月5日㈭～11月19日㈭

※抽選結果は11月24日㈫以降にメールでお知らせします。

オンライン参加

申込方法

● 新聞通信調査会ホームページから

https://www.chosakai.gr.jp

新聞通信調査会　検索

● QRコードから直接

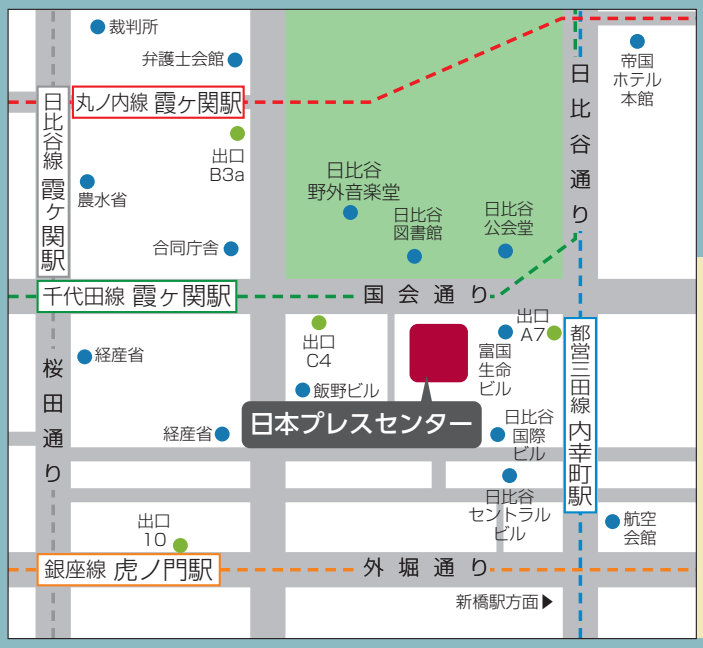
申込締め切り日

11月26日㈭

※ご登録いただいたメールアドレスへ11月30日㈪以降に参加URL等の情報をお送りします。

お問い合わせ先

公益財団法人 新聞通信調査会　✉ chosakai@helen.ocn.ne.jp



プレスセンターホール

日本プレスセンタービル10階

東京都千代田区内幸町2丁目2－1

交通アクセス

- 千代田線・日比谷線「霞ケ関」駅 C4 出口より徒歩2分
- 丸ノ内線「霞ケ関」駅 B3a 出口より徒歩5分
- 三田線「内幸町」駅 A7 出口より徒歩2分
- 銀座線「虎ノ門」駅 10 出口より徒歩7分